

上尾市都市計画マスタープラン 2 0 2 0

令和3年度 評価・進化管理 報告

令和4年11月

上尾市 都市整備部 都市計画課

目 次

1 上尾市都市計画マスタープランについて

- 1－1 上尾市都市計画マスタープランの概要…………… 1
- 1－2 計画の目標期間…………… 2
- 1－3 計画の評価・進行管理の目的と実施手法…………… 2
- 1－4 分野別方針と目標指標に関する事業実施状況…………… 3

2 分野別方針における各施策（事業）の実施状況及び評価について

- 2－1 土地利用方針…………… 4
- 2－2 都市施設の整備方針…………… 5
- 2－3 公共交通の整備方針…………… 1 1
- 2－4 都市防災の方針…………… 1 2

3 各施策（事業）や目標指標の検証

- 3－1 上尾市都市計画課による検証…………… 1 4
- 3－2 事前照会に対する質問と回答…………… 1 5

1. 上尾市都市計画マスタープランについて

1-1 上尾市都市計画マスタープランの概要

- 本市では、将来の人口減少や少子高齢化、安全・安心に対する防災の必要性などを踏まえ、令和3年3月に、市の都市計画・街づくり分野の基本となる、都市計画マスタープランを改定しました。
- 改定した「上尾市都市計画マスタープラン2020」では、本市が目指す将来都市像としてコンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造※1を明確にするとともに、その実現に向けた方針や施策を示しております。

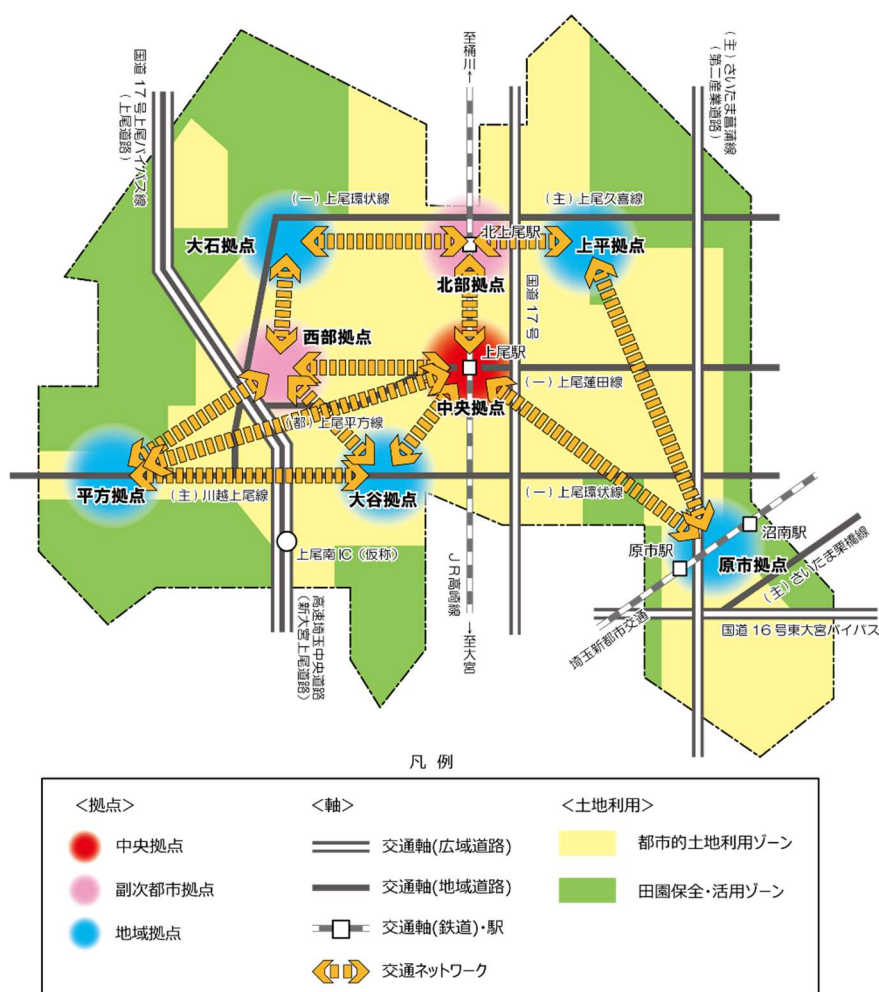


図-1 上尾市都市計画マスタープラン2020 将来都市構造図

¹ 将来にわたり持続可能なまちづくりに向けて、住宅や医療、福祉、商業等の生活関連サービス施設などがまとまって立地し、住民が徒歩や自転車、公共交通でこれらの施設に容易にアクセスできるまちづくりの概念。

1-2 計画の目標期間

- まちづくりは、その実現に至るまでに多くの時間を要することから、中長期的な視点による計画と、それに基づく継続的な取り組みが重要です。
- このことから、上尾市都市計画マスタープラン2020は、概ね20年後を見据えた上で、以下のとおり目標期間を設定しました。

■目標期間：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間

	平成23年 (2011年)	令和3年 (2021年)	令和13年 (2031年)	令和23年 (2041年)
第5次総合計画				
都市計画マスタープラン2010				
第6次総合計画				
都市計画マスタープラン2020				

図-2 上尾市都市計画マスタープラン2020 目標期間

1-3 計画の評価・進行管理の目的と実施手法

- 上尾市都市計画マスタープラン2020では、“土地利用方針”、“都市施設の整備方針”、“公共交通の整備方針”、“都市防災の方針”の4つの大きな方針のもと、各施策（事業）を実施し、その状況を評価・進行管理することで、計画の推進及び基本目標の達成を図ることとしています。
- 具体的には、各施策の管理主管課に対して、実施状況や目標指標の進捗状況を評価年度末に確認し、その中で課題の把握など施策の検証を行い、次年度の準備とするものです。
- また、実施している施策や、現在の目標設定・方針が、変化する社会情勢の中で計画の実現に適しているか、適時目標や施策の見直し・修正を行うことで、目指す将来都市像の実現を図ります。
- なお、今年度（令和3年度の評価・進行管理）については、計画の初年度であり、単年度における目標指標の進捗状況に対して、以下のとおり評価を行いました。

表-1 目標指標の評価基準

評 価	
◎	事業実施中（目標達成に向けて指標値の進捗がみられる）
○	事業実施中（指標値の推移はないが、進捗に向けて準備を実施）
△	事業実施中（指標値が指標の方向性に対しマイナスに推移している）
—	事業の未実施

1-4 分野別方針と目標指標に関する事業実施状況

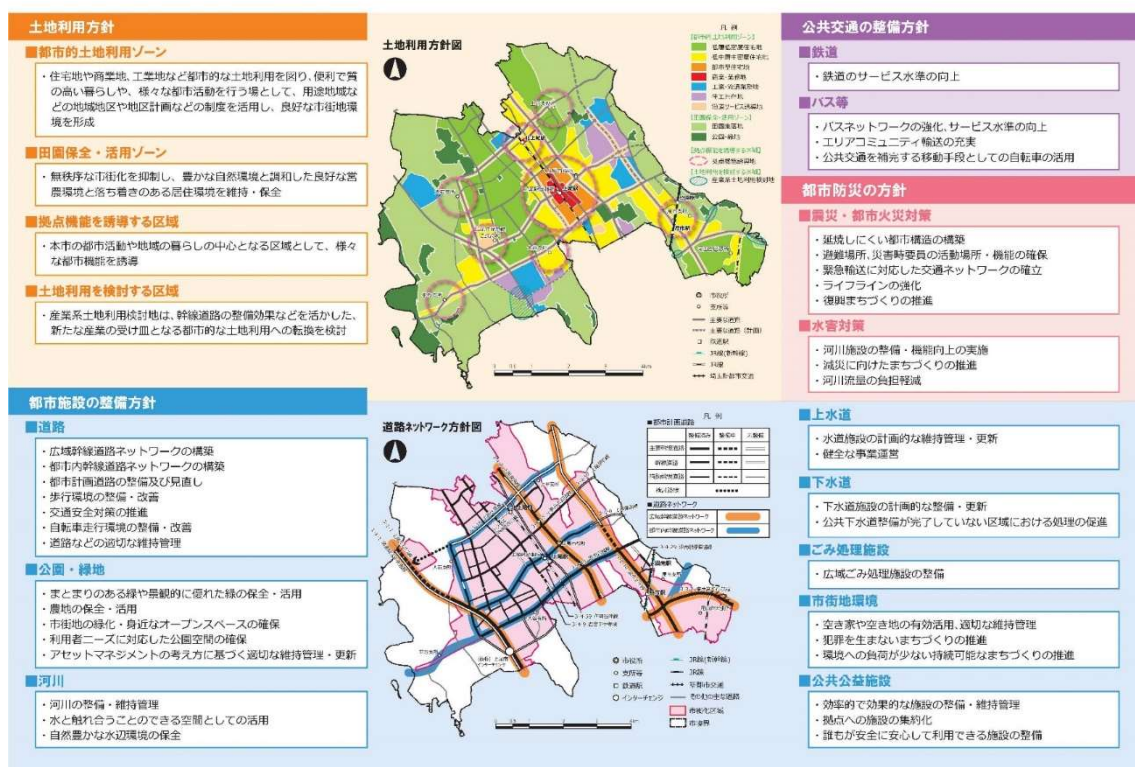


図-3 上尾市都市計画マスタープラン2020 分野別方針一覧

表-2 目標指標に関する事業実施状況

評価	件数(事業)	割合(%)
◎(指標進捗あり)	12	44
○(指標進捗なし)	11	41
△(指標マイナス)	3	11
－(事業の未実施)	1	4
合計	27	100

2. 分野別方針における各施策（事業）の実施状況及び評価について

2-1 土地利用方針

【施策の取組状況】

- 本市における市街化区域、市街化調整区域の区分のもと、都市計画に定められた用途地域や地域地区等に従い、メリハリのある土地利用を誘導しました。
- 市街化区域では、住宅地や商業地、工業地など都市的な土地利用を図るとともに、地区における街並み形成・防災力向上など良好な住環境の創出に向けた地区計画を推進するため、上尾市街づくり推進条例に基づく協議会の設立を推進しています。
- 大谷北部第二土地区画整理事業は、都市計画道路上尾池袋線の開通や街築工事の推進などにより計画的に事業を進捗させ、令和7年度までの土地区画整理事業完了に向け取り組んできました。
- 市街化調整区域は、無秩序な開発を抑制し、農地や緑地の保全を基本としつつ、「産業系土地利用検討地」として位置付けた上尾道路沿道堤崎西部地区において、地域の特性を活かした産業用地として、周辺環境と調和した一体的な土地利用の検討を進めているところです。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和2年度 (基準値)	令和12年度 (目標値)	令和3年度 (現状値)	評 価
地区計画区域面積	都市計画課	722.2ha	1214.6ha	760.7ha	◎
土地区画整理事業の整備率	市街地整備課	89%	100%	94%	◎
緑地率	みどり公園課	28%	29%	28%	△

【事業の実施内容】

- **地区計画区域面積**については、地頭方地区・富士見団地地区において、地区の住環境向上に向けた地区計画を定めるとともに、今後新たに地区計画策定を目指す検討候補地の選定に向けて、地区の現況や課題把握のための準備を進めました。
- **土地区画整理事業の整備率**については、大谷北部第二土地区画整理事業において、都市計画道路上尾池袋線の開通や、街築工事の推進などにより事業進捗を図りました。
- **緑地率**については、大谷北部第二土地区画整理事業地内において、公園整備を実施しましたが、一部保存樹林や生産緑地の解除申し出があり、市内の緑地面積は微減となりました。

2-2 都市施設の整備方針

(1) 道路

【施策の取組状況】

- 都市計画道路新大宮上尾道路（高速）の整備促進等、広域幹線道路の早期開通や将来断面での供用開始に向け、関係機関への要望を継続的に実施しました。
- 本市の都市期計画道路については、西宮下中妻線（1工区）の整備や、都市計画決定後長期未整備となっている都市計画道路の見直しに着手しました。
- 狭あい道路の解消や特定道路のバリアフリー化に向け、計画的に道路整備を実施しました。
- 道路交通の安全対策として、路面標示や道路照明等を適切に維持管理するとともに、地頭方地区等の通学路にグリーンベルトの整備を実施しました。
- 自転車走行空間の確保のため、都市計画道路西宮下中妻線の自転車レーン設置に向けた準備を行いました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和2年度 (基準値)	令和12年度 (目標値)	令和3年度 (現状値)	評 価
都市計画道路整備割合	道路河川課	11%※1	100%	11%	○
狭あい道路整備箇所数	道路河川課	0箇所※2	6箇所	4箇所	◎
バリアフリー路線整備距離	道路河川課	1.7km	1.8km	1.7km	◎
自転車レーン整備距離	道路河川課	5.6km	12.0km	5.6km	○

※1：事業化されている都市計画道路（西宮下中妻線、沼南駅停車場線、上大久保線）での整備割合（事業化の状況により変更有）とする。

※2：今期計画期間内における実施箇所数とする。

【事業の実施内容】

- **都市計画道路整備割合**については、西宮下中妻線（1工区）の整備に向け、物件移転補償や電線共同溝の整備（片側80m）を実施しました。
- **狭あい道路整備箇所数**については、市道4路線の道路改修事業を実施し、道路拡幅により狭あい道路の解消に努めました。
- **バリアフリー路線整備距離**については、対象路線である都市計画道路上尾平方線の整備（27.6m）を実施しました。
- **自転車レーン整備距離**については、都市計画道路西宮下中妻線の整備に向けた準備工（交差点区間の切削工事）を実施し、同区間について令和4年度に着手する予定です。

(2) 公園・緑地

【施策の取組状況】

- ふれあいの森やふるさとの緑の景観地について、民有地の公有地化など保全・活用に向けた準備を進めました。
- 特定生産緑地の指定により農地の保全に努めました。
- 市民の憩いの場や、災害発生時の避難場所、火災時の延焼遮断帯となるオープンスペースの設置可能性について検討しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和2年度 (基準値)	令和12年度 (目標値)	令和3年度 (現状値)	評 価
緑の景観地登録件数	みどり公園課	2 件	2 件	2 件	○
ふれあいの森事業登録件数	みどり公園課	7 件	7 件	6 件	△
中央拠点内オープンスペース整備箇所	みどり公園課	0 箇所※1	1 箇所	0 箇所	○
ワークショップ・説明会開催件数	みどり公園課	0 回※1	20 回	0 回	○

※1：今計画期間内における実施箇所・実施回数とする。

【事業の実施内容】

- **緑の景観地登録件数**については、原市ふるさとの緑の景観地（約 2,500 m²）の公有地化に向け準備を進めました。
- **ふれあいの森事業登録件数**については、令和3年2月に1件の登録解除となり、指標値としては減少しているが、登録件数の維持向上に向け取り組んでいるところです。
- **中央拠点内オープンスペース整備箇所**については、用地の確保手法や他市の事例調査などの準備を進めました。
- **ワークショップ・説明会開催件数**については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りましたが、川地区、富士見・富士見団地地区、戸崎地区において、公園整備に関するアンケートを実施するなど、今後ワークショップ・説明会の開催に向けた準備を進めました。

(3) 河川

【施策の取組状況】

- 1 級河川江川の改修を関係機関へ継続的に要望してきました。
- 上尾中堀川において、水辺環境を保全し、水質浄化や生物生息空間づくりを視野に入れた多自然型護岸整備の準備を進めました。
- 市が管理する河川について、総合流域防災事業計画に基づく計画的な整備や改修を進めるとともに、効率的・適切な維持管理に努めました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和 2 年度 (基準値)	令和 12 年度 (目標値)	令和 3 年度 (現状値)	評 価
多自然型護岸整備距離	道路河川課	620m	850.5m	620m	○

【事業の実施内容】

- **多自然型護岸整備距離**については、上尾中堀川の護岸整備の実施設計（目標値までの区間）を実施し、令和 4 年度以後の整備に向けた準備を実施しました。

(4) 上水道

【施策の取組状況】

- 上尾市水道事業ビジョンおよび上尾市水道事業経営戦略に基づき、計画的な水道施設の更新を進めました。
- 大規模施設改修として、東部浄水場着水井・混和池の更新工事（3 年目）を実施しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和 2 年度 (基準値)	令和 12 年度 (目標値)	令和 3 年度 (現状値)	評 価
上水道管路耐震化整備率	水道施設課	29.0%	34.0%	29.5%	◎

【事業の実施内容】

- **上水道管路耐震化整備率**については、令和 3 年 12 月に管路耐震化実施計画書を策定し、優先度の高い重要給水施設管路に対して計画的な耐震化を実施しました。

(5) 下水道

【施策の取組状況】

- 公共下水道については、荒川左岸南部流域関連上尾公共下水道事業計画に基づき、整備を推進しました。
- 河川などの水質汚濁を防止するため、大谷本郷地区、小敷谷地区等の公共下水道（污水）を整備しました。
- 浸水被害を軽減するため、浅間台地区の公共下水道（雨水）を整備しました。
- 浅間川都市下水路の整備や、既存都市下水路の適切な維持管理に努めました。
- 浄化槽処理促進区域における合併処理浄化槽による污水处理を促進しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和2年度 (基準値)	令和12年度 (目標値)	令和3年度 (現状値)	評 価
下水道管路耐震化整備率	下水道施設課	40.7%	50.0%	41.3%	◎
下水道整備率	下水道施設課	89.1%	100%	90.0%	◎
合併処理浄化槽設置基数 (浄化槽処理促進区域)	生活環境課	2,613 基	2,713 基	2,630 基	◎

【事業の実施内容】

- **下水道管路耐震化整備率**については、公共下水道整備及び下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路耐震化を実施しました。
- **下水道整備率**については、大谷本郷地区、小敷谷地区等の公共下水道（污水）の整備を実施しました。
- **合併処理浄化槽設置基数**については、浄化槽処理促進区域における合併処理浄化槽の転換を促進するため、17件の補助金を交付しました。

(6) ごみ処理施設

【施策の取組状況】

- 上尾市と伊奈町が広域ごみ処理を推進し、新施設の整備・運営に向けて具体的に事業を進めるため、両市町において必要な調整・統一すべき条件やルールなどについて現状を整理し、課題を抽出した上で将来の統一的な基本方針を定め、ごみ処理の広域化に係る基本的事項を明らかにすることを目的とし、上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画を策定しました。

（７）市街地環境

【施策の取組状況】

- 上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町と宅地建物取引業協会彩央支部とで、「埼玉県中央地域における空き家の利活用等に関する協定」を締結し、空き家の活用相談をしたい方、空き家を売却等したい方、購入等をしたい方を対象とした空き家バンクを開設しました。
- 防犯カメラの新規設置に向け、設置箇所や条件等について検討を進めました。
- 公共施設の新築、改修や設備等の更新にあたっては、「上尾市公共施設環境配慮型設備導入指針」を定め、各施設の所管部門が環境に配慮した公共施設の整備や災害時の自立的なエネルギーの確保等を検討し、推進していくこととしました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和２年度 (基準値)	令和１２年度 (目標値)	令和３年度 (現状値)	評 価
空き家相談会開催件数	交通防犯課	０件※１	２０件	０件	—
防犯設備設置件数 (防犯カメラ)	交通防犯課	０件※１	５件	０件	○

※１：今計画期間内における実施件数とする。

【事業の実施内容】

- **空き家相談会開催件数**については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りました。
- **防犯設備設置件数（防犯カメラ）**については、設置箇所の検討に向け、上尾警察との意見交換を実施しました。

(8) 公共公益施設

【施策の取組状況】

- 上尾市公共施設等総合管理計画、上尾市個別施設管理基本計画に基づき、効率的で効果的な施設マネジメントの実施により、公共施設等の適切な維持管理、更新を実施しました。
- 新たな事業機会の創出や民間投資の喚起を図るとともに、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進めることを目的として、「上尾市 PPP/PFI 手法導入優先的検討ガイドライン」に従い、西貝塚環境センターの基幹的設備改良・設備運営事業における PFI 手法の導入について検討しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和 2 年度 (基準値)	令和 12 年度 (目標値)	令和 3 年度 (現状値)	評 価
PPP/PFI の導入件数	施設課	0 件※1	2 件	0 件	○
上尾市個別施設管理基本計画達成率（期間内）	施設課	5.4%	100%	22.2%	◎

※1：今計画期間内における実施件数とする。

【事業の実施内容】

- **PPP/PFI の導入件数**については、導入に向けた調査研究を進めるとともに、上尾市 PFI 活用マニュアルや他市事例なども活用し、庁内承認に向けた支援を行いました。
- **上尾市個別施設管理基本計画達成率**については、対象となる 27 施設中、6 施設の改修が完了しました（令和 3 年度は上尾市コミュニティセンターの大規模改修が完了）。

2-3 公共交通の整備方針

(1) 鉄道

【施策の取組状況】

- JR 高崎線について、混雑解消と利用者の安全性、利便性及び快適性の向上に向け、鉄道輸送力の増強等を JR 東日本高崎支社へ要望しました。

(2) バス等

【施策の取組状況】

- 鉄道、民間路線バス、市内循環バス、タクシー等の公共交通機関が連携し、誰もが使いやすい公共交通を実現し、さらに地域が自らデザインする地域の交通、地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実により、持続可能な運送サービスの提供を確保するため、「上尾市地域公共交通計画」を策定しました。
- 公共交通を補完する移動手段としての自転車の活用に向け、サイクル&バスライドの設置可能性等について検証を行いました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和 2 年度 (基準値)	令和 12 年度 (目標値)	令和 3 年度 (現状値)	評 価
バスライド整備エリア駐輪場整備台数	交通防犯課	0 台※1	50 台	0 台	○
市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数	交通防犯課	468,262 人	480,000 人	382,168 人	△
市民意識調査による交通満足度	交通防犯課	—%※2	10%	—%	○

※1：今計画期間内における整備台数とする。

※2：前回の市民意識調査では未調査のため「—」とする。

【事業の実施内容】

- **バスライド整備エリア駐輪場整備台数**については、整備場所や条件等を整理するとともに、民間商業施設の活用可能性も含め候補地の検討を進めました。
- **市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数**については、新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会が減り、利用者が減少している状況ですが、モビリティマネジメント等で利用を促進し、基準値への回復を目指します。
- **市民意識調査による交通満足度**については、令和 5 年度の実施に向け、調査項目や他市の事例等について調査研究を進めました。

2-4 都市防災の方針

(1) 震災・都市火災対策

【施策の取組状況】

- 大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施し、強靱な地域づくりの推進を図るため、「上尾市国土強靱化地域計画」を策定しました。
- 上尾市既存木造住宅耐震診断補助制度に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い住宅の整備を進めるため、木造住宅の耐震診断（一般診断・精密診断）への補助を実施し、既存木造住宅の耐震化を促進しました。
- ライフラインの強化に向け、重要給水施設への給水管路の耐震化を実施しました。
- 災害発生時に、早期に適格な復興まちづくりに着手できるよう、県と連携しながら発災後の手続きの整理や復興方針の検討、市街地復興初動期業務図上訓練などの事前復興準備に取り組みました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和2年度 (基準値)	令和12年度 (目標値)	令和3年度 (現状値)	評 価
防火地域及び準防火地域指定面積	都市計画課	168.2ha	833.1ha	199.6ha	◎
消防水利施設設置基数	警防課	3,760 基	3,804 基	3,773 基	◎
災害用ヘリポート登録箇所数	危機管理防災課	13 箇所	15 箇所	13 箇所	○

【事業の実施内容】

- **防火地域及び準防火地域指定面積**については、地頭方地区において準防火地域の指定を行うとともに、各地区の拠点となる区域の周辺を防災機能向上地区として位置づけ、今後新たに防火地域または準防火地域を指定する検討候補地の選定に向けて、地区の現況や課題把握のための準備を進めました。
- **消防水利施設設置基数**については、消防水利が不足する地域の調査及び市内の公園予定地の調査を実施するとともに、区画整理事業や開発行為に伴い13基の消火栓を設置しました。
- **災害用ヘリポート登録箇所数**については、関係部署と協議し、ヘリポートとして活用できる候補地を3箇所選定しました。

（２）水害対策

【施策の取組状況】

- 荒川左岸の堤防整備について、国土交通省に対し「荒川左岸の無堤防区間解消とより強固な堤防整備について」の要望書を提出し、堤防や調節池の早期整備を要望しました。
- 近年多発する集中豪雨などによる路面冠水など、大雨時の安全対策として、河川監視カメラに加えて、市内の鉄道や道路の下を通る地下道（アンダーパス）に監視カメラを設置・公開しました。
- 土地開発に伴う雨水流出を抑制するため、開発許可関連基準にある雨水排水抑制施設の設置基準など、雨水排水抑制に関わる指導を行っています。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	令和２年度 （基準値）	令和１２年度 （目標値）	令和３年度 （現状値）	評 価
雨水貯留施設助成件数	建設管理課	204 件	484 件	231 件	◎

【事業の実施内容】

- **雨水貯留施設助成件数**については、広報あげお（年２回掲載）やイベント会場等における周知を行い、27 件の助成（前年比 35%増加）を実施しました。

3. 各施策（事業）や目標指標の検証

3-1 上尾市都市計画課による検証

- 目標指標を設定した 27 の施策（事業）のうち、「事業実施中」が 26 事業、「事業未実施」が 1 事業となっています。
- 「実施中」である 26 事業については、目標指標の数値進捗がある事業が 12 事業、目標指標に数値進捗はないが、進捗に向けて準備を実施した事業が 11 事業、目標指標の数値進捗がマイナスに推移している事業が 3 事業となっています。

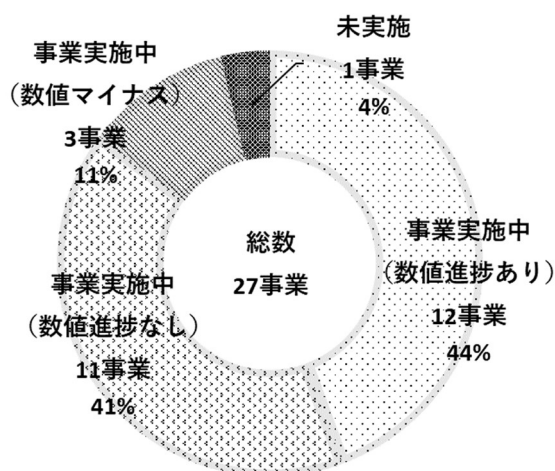


図-3 目標指標を設定した施策（事業）の実施状況

- 「未実施」である 1 事業（空き家相談会開催件数）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止したものであり、今後の感染拡大状況等を考慮し、令和 4 年度以降はオンラインによる開催なども視野に検討します。
- 現時点で目標指標や目標値の見直しの必要はないと考えますが、引き続き各施策（事業）の実施状況や進捗を踏まえ、適時見直し・修正を検討します。

3-2 事前照会に対する質問と回答

(1) 都市施設の整備方針に関する質問・回答

(個別分野：道路)

- 施策の詳細として「長期未整備都市計画道路について、総合的見地から見直しを進める」とあるが、その一覧と、何年塩漬けとなっているか、必要経費の概算を資料提出していただきたい。
- 長期未整備都市計画道路については、令和2年度から令和3年度にかけて、将来交通量解析結果を踏まえ、社会状況の変化に伴う必要性、構造の適切さなどについて検証してきたところです。
- 見直し対象の路線一覧及び計画決定後未整備期間については、以下のとおりです。
(都市計画決定後、20年以上未整備となっている6路線を抽出)

対象路線		都市計画決定日（当初）	計画決定後 未整備期間
1	3・5・14 西環状線	昭和37年3月19日	60年
2	3・4・13 中新井小泉線	昭和37年3月19日	60年
3	3・5・12 富士見ヶ丘中妻線	昭和30年11月10日	67年
4	3・4・28 原市平塚線	昭和59年6月29日	38年
5	3・4・57 上尾伊奈線	平成9年8月1日	25年
6	3・3・56 北上尾西口線	平成6年2月1日	28年

- なお、必要経費の概算額については、都市計画決定段階で算出しておりませんが、個別の道路事業の実施に向けた事業認可取得時に、事業期間や事業費などを明確化することとしております。

(個別分野：道路)

● 第二産業道路および上尾蓮田線の整備についての県への要請状況は。

- 都市計画道路原市上平線（第二産業道路）については、令和３年１０月２６日に埼玉県知事、副知事、県土整備部長、県土整備副部長、道路街路課長、さいたま県土整備事務所長、北本県土整備事務所長及び、埼玉県議会議長宛に、事業着手区間の早期完成及び必要な予算の確保等の要望を実施しました。
- 都市計画道路上尾蓮田線については、第二産業道路の整備状況を踏まえながら、必要に応じて北本県土整備事務所へ要請を行っていくこととしております。

(個別分野：公園・緑地)

● 特定生産緑地の指定状況は。

- 市内の生産緑地の約 89%（約 87ha）について、特定生産緑地の指定意向を確認しており、申出基準日となる令和４年１２月７日までに指定の公示を行うこととしております。

(個別分野：公園・緑地)

● さいたま水上公園 関係機関との協議状況の近況は。

- 埼玉県スポーツ振興課に対し、公園内の樹林地の保全を要望し、貴重な樹林地を活かしたバーベキューやキャンプ、散策などの活動ができる場の整備について、事業提案を行いました。

(個別分野：公園・緑地)

● 公園空間づくりに関する市民ワークショップの実施状況。

- 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ワークショップの実施は見送りました。
- 一方、公園利用者が求めるニーズを的確に捉え、住民参加による魅力ある公園づくりに向けて、川一丁目地内のあじさい公園（再整備）、戸崎公園北側区域の公園（新規整備）に関して、近隣住民等に対しアンケート調査を実施しており、今後の公園整備に活かしていくこととしております。

(個別分野：河川)

● 原市沼川の河川改修状況と課題は。

- 準用河川原市沼川の第1期事業区間としている柳津橋上流（県道上尾環状線）から平塚橋下流（県道上尾蓮田線）までの改修は、大部分が完了したところです。
- 現在、埼玉県が柳津橋下流域で原市沼調整池の整備を実施しており、その進捗を踏まえながら、引き続き上流域の河川改修を推進していくこととしております。

(個別分野：河川)

● 江川の河川改修について関係機関への要望状況は。

- 国や県（8月2日埼玉県知事、8月4日関東地方整備局長、8月23日荒川上流河川事務所長）に対し、江川上流域の治水対策事業の事業推進及び必要な予算の確保等について、江川中下流域の必要な対策の実施に向けた河川整備計画の速やかな策定等について要望を実施しました。

(個別分野：市街地環境)

- 防犯カメラの設置箇所・条件の検討状況詳細。

- 現時点で具体的な設置箇所の選定や条件等の決定には至っておりませんが、不特定かつ多数の人を撮影できる上尾駅及び北上尾駅周辺への設置を念頭に、上尾警察と連携を図りながら検討を進めているところです。

(個別分野：市街地環境)

- 空き家バンクの活用状況（件数）。

- 現時点の活用状況について、空き家の売却等に向けた物件登録は0件（平成31年度に1件登録実績有、売却済み）、空き家の購入等を希望する利用登録は25件となっております。

(個別分野：市街地環境)

- 空き家対策で現状未実施の手法について他自治体事例等の研究状況は。

- 「埼玉県央地域における空き家の利活用等に関する協定」を締結している4市1町（鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町）及び宅建協会彩央支部にて、運営の現状や改善点等に関する意見交換会を令和4年度中に開催する予定です。

(2) 都市防災の方針に関する質問・回答

(個別分野：震災・都市火災対策)

● 電線地中化の進捗状況。

- これまで上尾駅を中心とした中央拠点周辺におきましては、県道上尾停車場線、市道上尾平方線（西口ロータリーから鴨川までの区間）などで無電柱化を進めてきたところです。
- 現在の進捗としましては、事業中である西宮下中妻線について、電線共同溝整備による無電柱化を実施しております。
- また、令和4年度以降に上尾市無電柱化推進計画の策定を予定しており、中央拠点周辺において今後事業着手を予定している路線についても、無電柱化による整備を推進してまいります。

(個別分野：震災・都市火災対策)

● 災害用ヘリポート候補地3ヶ所の詳細、および今後更に増やしていく見込みは（休耕田の活用は考えられるか）

- 災害用ヘリポートについては、安全確保のため地盤が強固な平坦地であることや周囲に障害物が無いこと、2方向からの離着陸が可能であることなど、立地上の条件を踏まえて小中学校や公園等の施設を対象として指定しているところです。
- 候補地として選定した3箇所については、現時点では具体的な活用可能性（消防等による緊急時の活動を想定）の検討段階であることから、詳細を明らかにしておりません。
- また、現時点で当該候補地からさらに登録箇所を増やしていく考えはございませんが、引き続き関係部署と連携を図りながら対応してまいります。
- なお、休耕田については、災害用ヘリポートの立地上の条件を踏まえると、活用は難しいものと考えております。